

行政事業レビューシート (厚生労働省)

予算事業名	病原体等管理体制整備事業	事業開始年度	平成19年度	作成責任者		
担当部局庁	健康局	担当課室	結核感染症課	結核感染症課 亀井 美登里		
会計区分	一般会計	上位政策	-			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第56条の3から第56条の38	関係する計画、通知等	「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等の一部を改正する法律等の施行について」			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	特定病原体等の管理規制については、病原体によるテロを防止する観点を中心として導入されたものであり、それまで病原体等の管理が研究者等の自主性に委ねられており、適正な管理体制が必ずしも確立されていない状況にあった。生物テロに使用されるおそれのある病原体等の管理の強化が重要な課題であることから、所持、輸入等の禁止、許可、届出、基準の遵守等の規制を設け、生物テロを含む人為的な感染症の発生及びまん延を防止する対策の強化を図る。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ・二種病原体等許可申請業務、三種病原体等届出業務 ・特定病原体等取扱施設に対する定期的な立入検査業務及び特別な立入検査業務 ・特定病原体等の盗取等又は感染事故等に対する対応 ・運搬業者を対象とした、病原体等管理についての知識を有する者を養成するための講習会の開催 					
実施状況	<p>平成21年度の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立入検査業務については、結核感染症課及び地方厚生局担当者により実施(65施設) ・運搬業者を対象とした、病原体等管理についての知識を有する者を養成するための「特定病原体等の運搬に関する講習会」を11月に開催 					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	255	89	82	77	75
	執行額	230	86	80		
	執行率	90.2	96.6	97.6		
	総事業費(執行ベース)	230	86	80		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	支出先・用途の把握については、国が直接執行管理し、把握している。				
	見直しの余地	<p>生物テロに使用されるおそれのある病原体等の管理の強化が重要な課題となっており、病原体の所持、輸入等の禁止、許可、届出、基準の遵守等の規制、特定病原体等取扱施設への立入検査、病原体の運搬知識を有する者の育成等により、引き続き生物テロを含む人為的な感染症の発生及びまん延を防止する対策の強化を図っていく必要がある。</p> <p>また、病原体等管理システムにおいて取り扱う病原体所持者に関する情報は、特別管理秘密として大臣に指定されているのものであり、セキュリティ対策の強化が求められている。</p>				
予算・監視の効率化	<p>一部改善(執行状況を予算要求に反映)</p> <p>感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく必要な事業であるが、予算効率化の観点から、執行状況を踏まえて病原体等所持者研修会経費の開催回数や資料作成費の精査を行い削減を図ること。</p>					
補記						

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

厚生労働省
80百万円

【事業内容】

- ・施設基準確認検査
- ・事故・災害時等立入検査



【一般競争入札】

A. 民間企業
(東芝ソリューション(株))
70百万円

【事業内容】

- ・病原体等管理システム運用保守費

【うち事務費 10百万円】

A.東芝ソリューション(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
役務費	病原体等管理システム運用費	63			
役務費	システム改修費	7			
計		70	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるように
 記載)